

こどもの城 ニュース

KODOMO NO SIRO NEWS

2005.10.15 No. 165 発行 / (こどもの城) 広報部 ☎03-3797-5674
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-1



学校が夏休みになった下町で、子どもたちの元気な声がひびきたる。一つのボールを追いかけ、バスケットをするグループ。民家ののきさきで、人形を並べてまごごと夢中な女の子。輪になって大声をあげている子どもたちは「サイコロゲーム」。おこづかいをかけての真剣勝負だから、つい熱中する。私にも、1ペソ(コイン)ちょうだいとねだる陽気な子もいる。勝った子は駄菓子屋に飛びこもると、みんなにはっかのあめ玉をふるまった。

(フィリピン/写真・文=平早勉)

全国児童館おりがみ作品展 10月15日～11月6日 (こどもの城) ギャラリー

「全国児童館おりがみ作品展」が10月15日～11月6日に(こどもの城)ギャラリーで開かれます。6回目を迎える今年のテーマは「あそび」。この言葉から思い浮かべるものを折り紙で「作品」にしていきます。北は北海道から南は鹿児島県まで、全国各地の児童館・児童センター25館が参加。子どもたちが力を合わせて作った25作品(壁面10作品、立体15作品)が展示されます。出品作品制作中の秋田市土崎児童館と栃木県子ども総合科学館取材しました。

なお、「おりがみカーニバル」(日本折紙協会と(こどもの城)の共催)も同時に開催されます(期間中の土・日曜日・祝日に、折り紙のワークショップも開催)。

あそびいろいろ

秋田市土崎児童館

土崎児童館では毎月1回、テーマを決めて折り紙遊びを行っています。動物をテーマにしたときは、折りあげたペンギンやライオンなどもぞう紙にはりつけて「動物園」を作り、近くの施設にプレゼントしました。折り紙は、身近な遊びの一つになっています。

作品展に出品する作品作りは、6月のエントリーと同時にスタート。子どもたちと相談しながら作品のプランを考え、準備を進めました。実際に折り始めたのは8月中旬。「おりがみプロジェクト」を立ち上げて、毎日30分、延べ20日かけて作り上げました。メンバーは、小学1年生から6年生の約20人。

「あそび」って言葉からなにを考えるか、子どもたちに聞きました。すると「ゲーム」って返ってきます。外で遊ぶとすれば、と聞くと……。虫とり、セミとり、なわとび、ぶらんこ、さかなつり、などという答えが返ってきました。そこで、このような遊びの場面を集めて作品にすることにしました」と指導員の柳原静子さんと若根順子さん。

作品のイメージが決まると、柳原さんは趣味の草木染めの技術を生かし、和紙を染めた折り紙用紙も準備しました。「表裏がないので、少しぐらいずれても裏の白が目立ってしまうことがないんです。1年生でも折れるものにしてほしい、子どもたちが折ったものは全部、作品のなかに入れてあげたいので、折り方のうまい、へたがかりにくい和紙を使っています。

折った子どもが満足していれば、それは作品ではないのかな、と思います。おりがみプロジェクトでは、いつでも自由に折り紙を折ることができます。テーブルには大きさをそろえて切ったいろいろな色の和紙と、折り方の手順がわかる見本が置いてあります。見本は、折り図の段階ごとに実際の折り紙をはりつけたもの。自分が折っているものと形を比べ、手順を確かめながら折ることができるようになっています。



見本をみながら、手染めの和紙の折り紙で作品作り

栃木県子ども総合科学館

栃木県子ども総合科学館の折り紙遊びは折り紙ボランティアが中心になって運営されています。だれでも自由に参加できる「おりがみであそぼう」を毎月第3日曜日の午後1時30分～3時30分に開催。毎回テーマを決めて折り紙を楽しんでいます。

折り紙ボランティアは、女性ばかり15人。主婦、保育士、大学生など職業も年齢もいろいろ。取り上げる折り紙は、小さい子どもでも折れるものが原則。しかし、年2回「チャレンジデー」を設け、難しいものも取り上げています。こんなこともできるんだ、と折り紙のおもしろさを伝えること、ボランティア自身のスキルアップをめざす特別プログラムです。

年間のプログラムが決まれば、折り図をそえてメンバーに配り、覚えてきてもらいます。「難しい折り紙のときなどには、早めに来て教えてもらおうと思うんだけど、そういうときに限って教えてくれる人が時間ぎりぎりに来たりする(笑)」と折り紙ボランティアの一人。月1回の活動日を大切に持って、充実した活動を行いたいという気持ちが伝わってきます。

「全国児童館おりがみ作品展」に出品する作品作りは、7・8月の「おりがみであそぼう」の時間を使って行いました。「いろいろなものがあつたほうが楽しい」「遊びの風景を表現してみたい」「動物もいたほうがいい、動物園みたいでいいかなあ」

「長年の活動でつかわれたチームワークで、自然と作品のイメージがまとまり、子どもたちに作ってもらうものを決めました。7月は、「にそうぶね」だましぶね」などの名前が知られている折り紙を2つ組み合わせて「花」を作りました。8月には、三角柱の形をした「ユニット」を折り、それを組み合わせてかたつむり、自動車などを作りました。そして9月に最後の仕上げ。

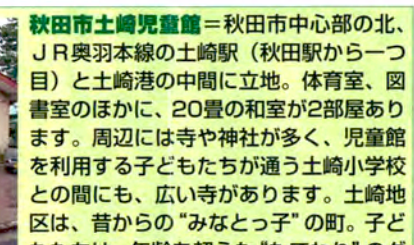
「今日は、花と木をみんなで作ってもらう予定だったけど、たくさんできたので、追加で風船折りで水辺のふちに置く岩を作ってもらいました」とボランティア。「花も」か所に集めてみたら、めりはりがついてよかったと思います。限られた時間を有効に使うため、臨機応変に対応していきます。

県内各地から子どもたちが集まってくるので、地域の児童館のように子どもたちと相談しながらじっくり作るという方法がとれません。でも、毎月の活動をふまえて、たくさん子どもたちといっしょに作品を作りたいという強い気持ちがあります。そこで考えたのが、集まった子どもたちに作品の「一部」を作ってもらい、それを集合させて一つの作品にする方法です。

【こどもの城】での展示が終わった後、12月17日～1月7日に栃木県子ども総合科学館で巡回展示を行う予定。「そのときには、栃木県内の児童館8館の作品をあわせて展示し、折り紙作りのブースも会場に設けます」と担当の桑野寛子さん。

「1年生ができるもの」ということを、常に頭に置いていると柳原さん。折り方も工夫します。「池のパーツは、おたまじゃくしの折り方の途中のもの。組み合わせると、水面が波立っている感じができます。水から連想して、水の中の生き物の折り方を本で調べて、折っているうちに気がつきましたと話します。「もう少し、おたまじゃくしになるので、それも教えています」。

作品に登場する子どもたちの顔には、目や口は書き込まれていませんが、それぞれの遊びの場面では、子どもたちが楽しげにおしゃべりをしているように見えます。「子どもたちのふだんの姿そのものを作品にしました。なわとび、虫とり、花つみ、さかなつり—それぞれの場面で、子どもたちがかわしている会話を聞きとってほしいと思います」と柳原さん。



秋田市土崎児童館=秋田市中心部の北、JR奥羽本線の土崎駅(秋田駅から一つ目)と土崎港の中間に立地。体育室、図書室のほか、20畳の和室が2部屋あります。周辺には寺や神社が多く、児童館を利用する子どもたちが通う土崎小学校との間にも、広い寺があります。土崎地区は、昔からの「みなと子」の町。子どもたちは、年齢を超えた「たてわり」のグループで遊んでいます。開館時間は、平日が午後1～6時。土曜日は午前8時30分～午後6時、日曜日・祝日は休館。小学生が遊びに来るまでの時間を使って、昨年4月金曜日に親子(幼児)向けの「ちっちゃいさんのわくわくあそび」を行っています。電話=018-845-9023。

り紙を2つ組み合わせて「花」を作りました。8月には、三角柱の形をした「ユニット」を折り、それを組み合わせてかたつむり、自動車などを作りました。そして9月に最後の仕上げ。

「今日は、花と木をみんなで作ってもらう予定だったけど、たくさんできたので、追加で風船折りで水辺のふちに置く岩を作ってもらいました」とボランティア。「花も」か所に集めてみたら、めりはりがついてよかったと思います。限られた時間を有効に使うため、臨機応変に対応していきます。

県内各地から子どもたちが集まってくるので、地域の児童館のように子どもたちと相談しながらじっくり作るという方法がとれません。でも、毎月の活動をふまえて、たくさん子どもたちといっしょに作品を作りたいという強い気持ちがあります。そこで考えたのが、集まった子どもたちに作品の「一部」を作ってもらい、それを集合させて一つの作品にする方法です。

【こどもの城】での展示が終わった後、12月17日～1月7日に栃木県子ども総合科学館で巡回展示を行う予定。「そのときには、栃木県内の児童館8館の作品をあわせて展示し、折り紙作りのブースも会場に設けます」と担当の桑野寛子さん。



栃木県子ども総合科学館=宇都宮市郊外にある、科学および科学技術の普及啓発施設と、健全育成のための児童厚生施設の機能をあわせもつ総合的な施設。広大な敷地(177,000m²)に、屋上に天文台を設置した2階建ての本館(延べ床面積約10,000m²)があり、遊びの広場・冒険広場、乗り物広場、水の広場、ピクニック広場のなど屋外施設が配置されています。本館には、科学に親しむための展示場(大人520円、小人210円)のほかプラネタリウム(大人210円、小人100円)、多目的ホールなどがあります。開館時間は、午前9時30分から午後4時30分まで。原則として毎週月曜日と毎月第4木曜日が休館日です。電話=028-659-5555。

20周年
遊びがつくる
みんなのWA

20周年記念シンポジウム「子どもはどこで育つ?」
赤ちゃん大集合
みんなであそぼう
ドルッチャタウン
11月4日(こどもの城)館内
11月5・6日(こどもの城)館内

ブルーノ・ムナリー展「もつと豊かに!もつと自由に!」
ダイアログ・イン・ザ・パーク「子どもたちのためのワークショップ」
11月15日(12月18日)ギャラリー/造形スタジオ
11月19日(12月18日)土・日曜日/フリーホール

スキムミルク Vol.3
健康おやつ巻

みんなーおやつだよー
きょうは「スキムミルク」で作ったドーナツだよ。
わーい!
おいしいそう!

本物にこだわるボクにはちょっとネー
えっ? スキム?

だいじょうぶ!
牛乳から、脂肪分だけを取りのぞいているからミルクと同じだよ。
カルシウムが多いから体にいいんだ。

フン!! どうだか!!
ボクはママの特製プリンがあるもん!
あー おいちー
あっ ママー。
ほくちゃん♡ おむかえよ。

おいしい? 「スキムミルク」入りプリンは?
えっ! ママも使ってたの～
かしこいママも使ってる「スキムミルク」。
「スキムミルク」は、健康づくり食品として注目されています。それは、牛乳から乳脂肪(バター)を取り除いているので、動物性脂肪が極めて少なく、低カロリーで、良質な「たんぱく質」「カルシウム」「ビタミンB₂」が多く含まれており、カルシウムの吸収率が非常に高い食品だからです。
*児童給食事業部は「スキムミルク」を無税で輸入し、全国の児童福祉施設に低価格で提供しています。
スキムミルク(22g、牛乳1本分相当)と牛乳(200g、1本)の成分比較
8.1g スキムミルク 286mg スキムミルク
5.8g スキムミルク 200mg スキムミルク
0.2g スキムミルク 0.3mg スキムミルク
たんぱく質 乳脂肪 カルシウム ビタミンB₂
TEL03-3591-3245
財団法人 児童育成協会 児童給食事業部
〒105-0003 東京都港区西新橋1-1-21 FAX03-3595-2216

【こどもの城】の開館記念日(11月1日)の前後は、開館記念・ファミリーウィーク特別期間。10月29日から11月6日まで、家族で楽しめる遊びのプログラムがたくさん。10月31日は休館。開館時間は、土・日曜日、祝日が10:00~17:30、火~金曜日が12:30~17:30。11月3日は、18歳未満の入館料は無料になります。

今年が開館20周年のふしめ年でもあり、毎年行っている「赤ちゃん大集合」(11月4日/研修室ほか)のほか、シンポジウム「子どもはどこで育つ?」(11月1日/青山円形劇場)、子どもたちが作る遊びの街「ドルッチャタウン」を作る(11月5・6日/館内各所)なども行います。



遊びが広がるみんなのWA 26歳

遊びが広がるみんなのWA 26歳

遊びが広がるみんなのWA 26歳

11月4日は 赤ちゃん大集合

3か月~2歳の赤ちゃんとお母さん

- 赤ちゃんサロンスペシャル (10:30~15:00/9階研修室)**
「赤ちゃんサロン」のスペシャル版。お母さん同士の語らいの場。Dr.ゴロートーク(13:00~14:00)もあります。
- みんなで遊ぼうにこにこパーク (10:30~15:00/9階研修室)**
【こどもの城】のボランティアが運営する、乳幼児とお母さんのための遊びとくつろぎの部屋。
- ごろごろ ハイハイ (10:30~11:00/体育室)**
ハイハイをするぐらいの子どもを中心に、親子で楽しく体操、手遊び。
- たっち たっち タッタッタ (11:10~11:40/体育室)**
伝い歩きするぐらいの子どもを中心に、親子で楽しく体操、手遊び。
- てくてく ピョンピョン (13:30~14:00/体育室)**
一人歩きできるぐらいの子どもを中心に、親子で楽しく体操、手遊び。
- It's a ベビーワールド (14:10~15:00/体育室)**
自由遊びの部屋。体育と保育のスタッフが親子遊びのアドバイス
- にこにこ広場 (14:00~14:30/音楽ロビー)**
人形劇・パネルシアターなどでおはなしを楽しみます。
- うたってパプリン (14:30~15:00/音楽ロビー)**
楽しいコンサート。楽しい歌がいっぱい。
- あそんでパプリン (15:00~15:30/音楽ロビー)**
音楽がいっぱいの人形劇・パネルシアター。
- ビデオどうぶつえん (開館時間中/ビデオライブラリー)**
いろいろな動物のビデオを見ることが出来ます。
- 情報展示コーナー (11:30~15:30/8階研修室)**
ベビー用品の紹介。商品サンプルのプレゼントもあります。

※11月4日は金曜日で、(こどもの城)の開館時間は12:30ですが、午前中からプログラムが行われる研修室と体育室は開館します。受け付けは10:00からエントランスホールで行います。

「走れ! キャッスルトレイン」鉄道模型運転会

10月15~23日 フリーホール

Nゲージの鉄道模型の走行を楽しむ「走れ! キャッスルトレイン」が、10月15~23日(17日は休館)にフリーホールで開かれます。たたみ12枚ほどの広さの台にレールがレイアウトされていて、交代で鉄道模型を運転することができます。また、「マインゲージ」を持ち込んで広い場所で走らせることもできます。プラレールコーナーは、幼児に人気のコーナー。いろいろな種類のレールがいっぱいあるので、思い思いの形にレールをつないで遊ぶことができます。工作台コーナーでは、ブ



「走れ! キャッスルトレイン」鉄道模型運転会

ワークショップとパフォーマンス HOICHI OKAMOTO

11月9~17日 青山円形劇場ほか

〈オブジェクトシアター2005〉ワークショップとパフォーマンス HOICHI OKAMOTOが、11月9~17日に青山円形劇場ほかで開かれます。2つのワークショップとパフォーマンス(公演)で構成されたプログラム。人形制作と人形と演じるワークショップを行い、その成果を青山円形劇場で発表します。ある程度の経験者を対象としていますが、興味のある人は初心者でも参加できます。講師は岡本芳一さん。17日の青山円形劇場でのパフォーマンスは、第1部がワークショップの結果発表ほか、第2部が百鬼ど

ろの久しぶりの東京公演。演目の「弥勒伝承」は東京初演になります。ワークショップとパフォーマンスの概要は下記のとおり。

- ワークショップA「空なる器をつくる~人形制作」□
11月9~12日(10:00~17:00。4日間連続)/場所=こどもの城研修室/受講料=10,000円/定員20人(先着順)
- ワークショップB「人形(ひとがた)と共に舞台に立つ~人形とのパフォーマンス」□
11月13~16日(10:00~17:00。13日のみ19:00まで。4日連続)/場所=両国シアターX(カイ)/受講料=10,000円/定員20人(先着順)

■青山劇場 ☎03-3797-5678 http://www.aoyama.org

開館記念・ファミリーウィーク特別期間 10月29日~11月6日

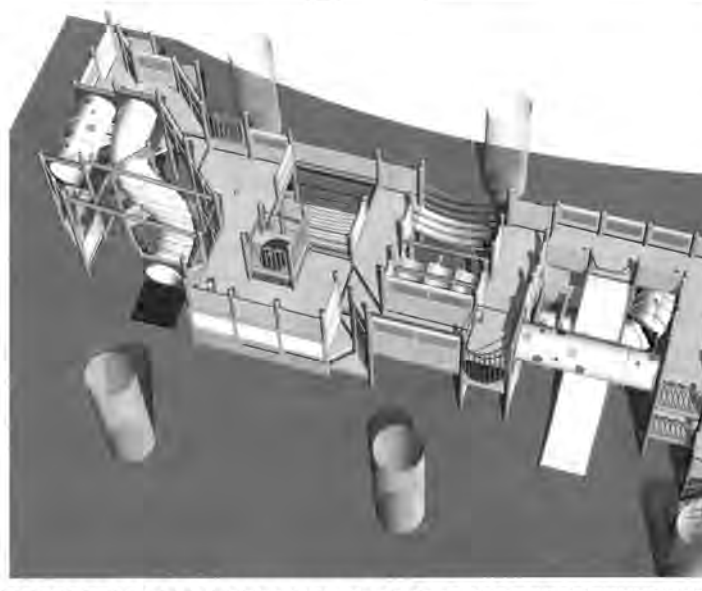
- あそびのおもちゃ箱スペシャル (10月29・30日)**
〔みる~こどもの城ボランティアグループの公演〕
影絵、女性人形劇、紙芝居、女性絵本、みかんちゃんず、ひまわりさん、パネルシアター、青年絵本、青年人形劇の各グループの公演。
●29日=プレイホール(11:00、14:00、16:00)
●30日=フリーホール(11:00、11:30、12:30、13:30、14:30、15:30)
- つくる・あそぶ~わくわくパペットランド**
紙コップでオニの人形を作ります。作った人形で参加する人形劇遊び「こぶとりじいさん」もあります。(29・30日/プレイホール。11:00~16:00、13:00と15:00に人形劇遊び)
- 親子のふれあい体操 (10月29・30日、11月3日)**
●親子で遊ぼう (体育室/10月29日/14:00~15:00)
●親子でサッカーほか (体育室/10月30日、11月3日/14:00~15:00、16:00~17:00)
●1・2・ジャンプ (1・2歳児の親子体操) (体育室/10月30日/10:30~11:30)
●2・3・スキップ (2・3歳児の親子体操) (体育室/11月3日/10:30~11:30)
●体験ベイスイミング (プール/11月2日/10:15~11:30)
※8~11か月の赤ちゃんとお母さん50組。参加費1,000円。先着順に電話で予約受付中。体育事業部【03-3797-5660】

11月5日(13:00~16:30)と6日(11:00~16:30) (こどもの城) 館内各所 子どもたちが作る遊びの街「ドルッチャタウン」

こんな遊びがあったらいいな、あんな遊びをしてみたいな—こんな思いを子どもたち自身の手で形にしたのが「ドルッチャタウン」。体育室、フリーホール、プレイホール、音楽ロビーなどに約30店の「遊びの店」が並びます。「こどもの城」の講座・クラブの受講生のほか、遊びが大好きという子どもたちが集まって遊びの街を作ります。ゲームの店のほかにも、ミニコンサートや楽器体験コーナー、スポーツ広場など、子どもたちが中心となって運営します。(こどもの城)に「ドルッチャタウン」が出現するのは、11月5日(13:00~16:30)と6日(11:00~16:30)の2日間です。

プレイホールの「わくわくらんど」 遊びの機能を増やしリニューアル

プレイホールの大型遊具「わくわくらんど」が、全面的にリニューアルされます。工事のため、ご迷惑をおかけしていますが、11月1日の【こどもの城】開館記念日にはご利用いただけるようになります。スウェーデン製の大型遊具「わくわくらんど」は、平成4年(91年)3月にオープンして以来、10年以上にわたってたくさんのお子たちに利用されてきました。今回、より変化に富んだ遊びが楽しめるように、装



プレイホールの「わくわくらんど」

アトリウムで「ガムラン講座」 受講生・講師がミニコンサート開く

ガムランというのは、インドネシア・ジャワ島の青銅製の打楽器を中心としたオーケストラ。大きなゴング、鉄琴のようなサロン、おわんを伏せたようなボンなど、たいてい音を出す楽器(打楽器)が多いので、初めての人でもすぐに演奏に加わることができて、合奏のおもしろさや楽しさを体験することができます。【こどもの城】には、日本でもただ一つの、子どものためのガムラン講座があり、毎週日曜日の午後練習をしています。9月25日には、講座のことをより多くの人に知ってもらおうと、講座の受講生と卒業生、講師によるミニコンサートをアトリウムで開きました。吹き抜けの大きな空間にガムランの音色が響きわたり、アトリウム全体が音に包まれたようでした。インドネシアの踊りも披露され、通りがかったたくさんの親子連れが立ち止まり、熱心に聞き入っていました。



アトリウムで「ガムラン講座」

冬のキャンプ 参加者募集!

【こどもの城】では、冬休みにスキーや雪遊びを楽しむ野外活動「スキースクール パートI 1期」「同 2期」「ゆきんこ冒険団」を行います。仲間との出会いを大切にしたいプログラムです。概要は下記のとおり。参加申し込みは、それぞれの受け付け開始日の正午から、先着順に電話で受け付けします。資料請求、参加申し込みは企画研修部へ。

企画研修部 ☎03-3797-5675へ おかけ間違いのないようご注意ください

Bスタジオの催し

- 10月23日□
不思議な映像実験室「絵が動いてみるおもちゃの展示とワークショップ」 11時~5時
映画やビデオのルーツ「動いて見えるおもちゃ(視覚がん具)」の、さわって、見る展示と、3種類のワークショップ。
ソーマトロープを作ろう (11時30分~12時30分)
ピンホールカメラを作ろう (1時30分~2時30分)
フィルムに絵を描こう (3時30分~4時30分)
- 10月30日□
手作り楽器のワークショップ「フィルムケースの笛」 1時30分、3時30分
フィルムケースを使った「鳥笛」作り。小学生以上、定員は各回30人。15分前から会場受け付けします。
- 11月13日□
こどもの城映画劇場「カナダのアニメーション」 11時35分、1時35分、2時35分、3時35分

青山劇場

- 島田歌徳コンサート
▽10月22・23日▽8,000円
(問) 03-3498-9999
- すかばらやすのり「まほろばコンサート」
▽10月25日▽6,500円
(問) 03-3763-6967
- 「青山太鼓見聞録vol.2」
▽10月26日▽S席=4,000円、A席=3,500円
(問) 03-3797-5678

青山円形劇場

- 青山円形劇場+ゴーチ・ブラザーズ
共同プロデュース公演「胎内」
▽10月20~30日▽5,500円(当日=5,800円) (問) 03-3797-5678
- 【こどもの城】開館20周年記念シンポジウム「子どもはどこで育つ?」
▽11月1日▽無料(応募制)
(問) 03-3797-5675
- 日本におけるドイツ2005/2006 H・E・U



●プロドウェイミュージカル「リトルショップ・オブ・ホラーズ」
▽11月3~27日▽S席=10,000円、A席=8,500円 (問) 03-3490-4949

世界的に高い評価を得ているカナダのアニメーションを上映。
「フムスビル」(10分12秒/Yvon Mallette監督)、「1,2,3,ココ」(3分37秒/Dierre M. Trudeau監督)、「ムービー・ムービー」(7分30秒/Don White監督)

おもしろビデオ館

金曜日 3時30分~4時 Bスタジオ
親子で楽しむ「ミニビデオシアター」。2~4歳ぐらいの幼児向け作品を選んで上映。
《日本の昔話と童謡》
10月21日: ひいらいたひいらいた 翁あかほちや
28日: こゆひ 八ヶ岳頭巾
《世界の絵本・日本の絵本》
11月 4日: さきげんなライオン 八八郎のふしきなぼうけん
11日: すてきな三にんぐみ フレデリック
18日: 世界でいちばんすてきなたまたま パナマですてきなだ
25日: あつかりカバ ハロルドまほうのくにへ